

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、試薬供給会社より、HIV-1 RNA 定量検査につきまして、リアルタイムPCR法ではHAART治療の症例で従来法と比較して高値となる例があり、この問題の検討結果の連絡がございました。

検討結果によりますと、当初設定した検査材料条件の血清・凍結保存では従来法と比べ乖離率が高いケースがある旨の報告がございました。

弊社と致しましては内容を鑑み、下記のように採取容器を変更し、より適切な血漿・凍結保存にさせていただくこととなりましたので、ご案内させていただきます。

何卒宜しくご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

2009年12月

◆検査内容変更項目

HIV-1 RNA定量

変更期日：2009年12月29日(火)受付分より

	新	現 行
採取容器	⑧:遺伝子血漿容器 (EDTA-2K+血漿分離剤入り)	⑤:HCV-RNA容器 (凝固促進剤+血清分離剤入り)
検体必要量	血漿 3.0ml	血清 3.0ml
保存	凍結	凍結
備考	採血後、4~5回静かに転倒混和し、遠心分離を行い血球と血漿が確実に分離してから凍結し、ご提出下さい。 同一検体で他項目との同時依頼は出来ません。キャップの開封はしないで下さい。	採血後、4~5回静かに転倒混和し、室温に30~60分放置し、凝固完了を確認後、遠心分離を行いそのまま凍結してご提出下さい。 同一検体で他項目との同時依頼は出来ません。キャップの開封はしないで下さい。

お問い合わせは最寄りの営業所 または、

本社・研究所にお願いいたします。

SMS 株式会社 **昭和メディカルサイエンス**

本社・研究所：東京都町田市鶴間541番地2

TEL 042 (795) 6000